

# 第7回熊本市行政区画等審議会 会 議 資 料



日時 平成22年3月29日(月) 10時00分～  
場所 KKRホテル熊本 2階「五峯」

1. 「第6回熊本市行政区画等審議会」における質問関係資料について・・・ 1

2. 「行政区画編成」「区役所の位置」の修正意見について・・・15

# 1 「第6回熊本市行政区画等審 議会」における質問関係資料 について



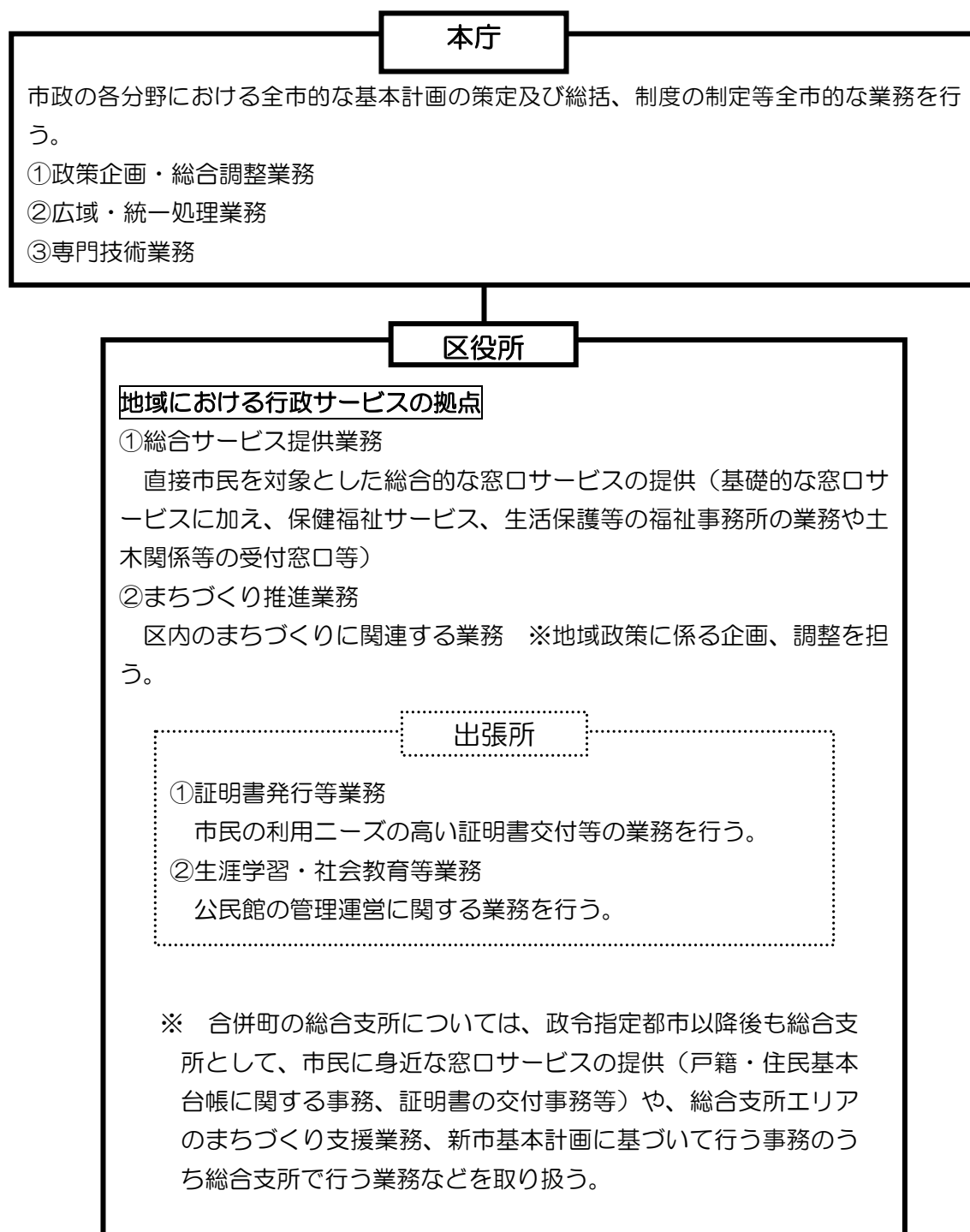
## 熊本市における政令指定都市移行時の区役所機能について

### 1. 基本方針

- ① 本庁の業務は、企画、人事、財政をはじめ、福祉、産業、都市計画などの市全体に係る政策企画、総合的な管理調整などの業務、災害対策や電算処理など、統一かつ集中的な処理が必要な業務、建築確認や産業廃棄物指導など個別の専門性が必要な業務などの全市的なものとする。
- ② 区役所をきめ細かな行政サービスを提供する区の拠点として位置づけ、住民生活に密接に関連する事務を総合的に処理できる体制をとり、区役所で窓口サービスが完結するような体制をとることで住民の利便性を向上させる。
- ③ 区役所では、地域の個性や特性を生かした区単位の自主的、自立的なまちづくりの推進を図り、区民や自治会などの地域におけるコミュニティ組織の意見を反映させるようなまちづくりの仕組みや、区のまちづくりに区民が参加しやすい仕組みをつくることで、市民協働のもと、地域に密着した特色あるまちづくりや、住民ニーズに応じたまちづくりを推進する。
- ④ 区役所で行う市民サービスについては、原則としてどの区役所においても利用できるような体制をとる。
- ⑤ 区役所の窓口機能を補完する出張所を設置し、市民の利用ニーズの高い住民票等の証明書の交付等業務や公民館の管理運営等の業務を行う。

※ 合併町の総合支所については、政令指定都市以降後も総合支所として、市民に身近な窓口サービスの提供（戸籍・住民基本台帳に関する事務、証明書の交付事務等）や、総合支所エリアのまちづくり支援業務、新市基本計画に基づいて行う業務のうち総合支所で行う業務などを取り扱う。

## 2. 区役所設置後の行政体制のイメージ



# 政令指定都市移行時の区役所機能（案）

| 部門                                   | 主な業務                                                                                                                                                                                                                             | 政令指定都市移行前の主な担当部署                                                                            |
|--------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------|
| 総務企画部門                               | 区の統括管理、文書管理、統計、財産管理、予算管理、防災、選挙管理委員会事務局等の業務                                                                                                                                                                                       | _____                                                                                       |
| まちづくり推進部門                            | 区の地域振興事業、広報、広聴、自治会、交通安全、防犯、環境、総合相談窓口等の業務                                                                                                                                                                                         | 市民生活局<br>地域づくり推進課※                                                                          |
| 市民生活部門                               | 戸籍、住民基本台帳登録、外国人登録、印鑑証明、諸証明発行等の業務                                                                                                                                                                                                 | 市民生活局<br>市民課※                                                                               |
| 税務関係部門                               | 個人市民税・県民税(普通徴収分)の賦課、固定資産税・都市計画税の賦課、原動機付自転車等の標識交付、納税相談・窓口収納、各種税証明等の業務                                                                                                                                                             | 企画財政局<br>主税課<br>市民税課※<br>資産税課※                                                              |
| 健康福祉部門<br>※各区役所に福祉事務所、保健福祉センターを設置する。 | 国民健康保険、後期高齢者医療保険、介護保険、国民年金、各福祉医療制度申請等の業務<br>母子・健康増進・精神保健事業、特定疾患対策事業、栄養事業、歯科保健事業等の業務<br>高齢者・身体障害者手帳・療育手帳の受付・交付、知的障害者福祉に関する相談・援護、介護保険の認定・サービス利用に関する相談等の業務<br>生活保護の申請・相談の業務<br>児童手当・児童扶養手当の認定・支給、母子・寡婦福祉に関する相談・援護等の業務<br>保育園の入退所等業務 | 健康福祉局<br>国民健康保健課※<br>国民年金課※<br>保健福祉センター※<br>地域保健福祉課<br>高齢介護福祉課※<br>障がい保健福祉課※<br>保護課(第一・第二)※ |
| 産業振興部門                               | 農林水産業の振興事業、農業施設の整備・維持管理及び土地改良事業等の業務                                                                                                                                                                                              | 子ども未来局<br>子ども政策課<br>子育て支援課<br>保育幼稚園課※<br>経済振興局<br>農業政策課※<br>生産流通課※<br>耕地課※                  |
| 土木部門                                 | 市民からの要望が多い歩道新設・改良、反射鏡・照明灯・防護柵の設置、区画線の補修、舗装打換、舗装新設、側溝の新設・改良、道路幅員拡大に伴う整備等の受付業務(区長の権限により、土木センターが実働を行う。)                                                                                                                             | 都市建設局<br>土木センター                                                                             |

※は、総合的な業務を除いたほとんどの業務が区役所業務となる部署

# 政令指定都市移行後の区役所出張所窓口における取り扱い事務（主なもの）

| 担当課         |            | 取扱い事務項目                                   | 3,4,5<br>区案 | 6区案 | 市民センター<br>(現行) |
|-------------|------------|-------------------------------------------|-------------|-----|----------------|
| 市民課         | 戸籍         | 戸籍関係届                                     | ○           |     | ○              |
|             |            | 全部・一部事項証明、戸籍謄抄本・附票の交付                     | ○           | ○   | ○              |
|             | 住民票        | 住民異動届                                     | ○           |     | ○              |
|             |            | 住民票関係証明書（住民票の写し・記載事項証明等）の交付               | ○           | ○   | ○              |
|             |            | 広域交付住民票                                   | ○           | ○   | ○              |
|             | 印鑑         | 印鑑登録・廃止・亡失届の受付                            | ○           |     | ○              |
|             |            | 印鑑登録証明書の交付(外国人も含む)                        | ○           | ○   | ○              |
| 主税課         |            | 軽自動車関係全般                                  | ○           |     | ○              |
|             |            | 市税証明(所得証明、納税証明、資産証明、車検用証明)                | ○           | ○   | ○              |
| 市民税課        |            | 申告書の配布                                    | ○           | ○   | ○              |
| 納税課         |            | 市税の収納                                     | ○           | ○   | ○              |
| 国民年金課       |            | 新規加入、辞退等届、資格喪失その他届                        | ○           |     | ○              |
| 国民健康<br>保険課 | 国民健康<br>保険 | 資格取得（退職者は除く）・喪失届の受付、住所変更                  | ○           |     | ○              |
|             | 老人医療       | 受給資格喪失届の受付                                | ○           |     | ○              |
| 高齢介護福祉課     |            | 被保険者証の住所その他届（変更）の受付、<br>死亡者の保険証回収、受給証明書交付 | ○           |     | ○              |
|             |            | さくらカードの返還                                 | ○           | ○   | ○              |
| 子育て支<br>援課  | 乳幼児        | 受給資格喪失届の受付                                | ○           |     | ○              |
|             | 児童手当       | 児童手当住所・氏名等変更届の受付(住民異動届と同時の変更届)            | ○           |     | ○              |
| 公民館         |            | 公民館で行う生涯学習・社会教育関係業務                       | ○           | ○   | ○              |

## 区内の区役所に行かなければならない事務

現時点で考えられる事務は以下のとおりです。

- ①生活保護決定後の第 1 回目の支給、不定期的な相談（ケースワーカーが何度訪問しても連絡がとれない場合など。）
- ②ごみステーションの設置届出受付等
- ③区域内の農業土木に関すること（農業集落排水事業等に関すること）
- ④区内における道路に関する要望（側溝の補修、新設など）
- ⑤外国人登録の申請  
（居住地の区役所に登録し、管轄区が原票を保管する。）  
※外国人住民住基台帳への記載がH24年7月施行の予定であるため、H24年7月からはどこの区役所でも申請することができるようになります。



# 熊本市における区バス導入に向けた検討について

## 1. 熊本市の区バスに対する考え方

区バスとは、政令指定都市移行に伴い、設置が予定されている行政区の域内を運行するバスで、区役所と最寄の鉄軌道の駅、商店街、医療・福祉施設などを結ぶもの。

この路線は、採算性が見込みにくい福祉的な路線であることから行政が運行に関する制度設計を行い利便性の向上に取り組むとともに、行政が主体となって運営を行う必要があると考えている。

また、区バスの運行路線については、近接する乗換拠点を經由することにより路線バスとの連携を図っていきたい。

## 2. 導入に向けた検討スケジュール

### (1)平成 22 年度

将来の区バスの整備のあり方等について検討するための調査研究費等(9,460 千円)を当初予算(案)に計上している状況である。

具体的な事業概要は以下のとおりである。

- ① 区バスの運行計画(案)の策定：区バスの運行路線、停留場、便数、運賃、需要予測等の検討
- ② 区バスの運行基準(案)の策定：採算性、運行欠損補助等
- ③ 区バスの導入スキーム(案)の策定：運行形態、契約方式等
- ④ 区役所と最寄の乗換拠点の詳細検討：区バスの利用者の乗継利便性向上を図るため、区バスの運行路線における他のバス路線や他の公共交通機関との乗継地点となる乗換拠点の詳細検討を実施
- ⑤ 区バスの運行や乗継における課題等を抽出するための市民移行調査：国土交通省の全国P T調査の追加調査（印刷費のみ）

### (2)平成 23 年度

- ① 地元との意見調整を実施し、運行計画案に反映
- ② 各区に道路運送法に基づく「地域公共交通会議」を設置
- ③ 実証運行の検討

### (3)平成 24 年度

- ① 政令指定都市移行に合わせ、区バスの実証運行開始

## 区バス等を導入している先進政令指定都市

| 都市名   | 名称                | 導入目的                                           | 運行主体        | 行政関与    |
|-------|-------------------|------------------------------------------------|-------------|---------|
| 仙台市   | ながまちくん（太白区）       | 仙台市南部の中心街の開発による、バス路線網の見直しに伴い循環バスの運行を決定         | バス事業者       | なし      |
|       | 南光台コミュニティバス（泉区）   | 泉区南部南光台地区の交通手段としての地区内循環バス                      | 市交通局        | -       |
| 新潟市   | 新潟市観光循環バス（中央区）    | 市内中心部の観光施設を効率的に移動するための交通手段として導入                | バス事業者との共同運行 | -       |
|       | 新潟市区バス（中央区を除く7区）  | 政令市移行に伴う区役所へのアクセス手段として、交通空白地区や不便地区にコミュニティバスを導入 | バス事業者       | 委託      |
|       | にこにこ号（中央区）        | 交通空白地区や不便地区にコミュニティバスを導入                        | バス事業者       | 補助金     |
|       | カナリア号（江南区）        | 既存バス路線の撤退による交通空白地域の解消                          | バス事業者       | 補助金     |
|       | 赤塚地区住民バス（西区）      |                                                |             |         |
| さいたま市 | さいたま市コミュニティバス（各区） | 政令市移行に伴う区役所へのアクセス手段として、交通空白地区や不便地区にコミュニティバスを導入 | バス事業者       | 補助金     |
| 千葉市   | さらしなバス（若葉区）       | 交通空白地帯の解消と公共施設の連絡を目的とし導入                       | バス事業者       | 委託      |
|       | 花まるバス（花見川区）       |                                                |             | なし      |
|       | おまごバス（若葉区）        | 既存バス路線の撤退による交通空白地域の解消                          | バス事業者       | 委託      |
|       | いずみバス（若葉区）        |                                                |             |         |
| 川崎市   | みらい（宮前区）          | 交通空白地帯の解消として地区内を循環するバスを導入                      | 自治会         | なし      |
| 横浜市   | あかいくつ（中区）         | 観光施設循環バス                                       | 市交通局        | -       |
|       | みなとみらい100円バス（中区）  | みなとみらい21を循環するバス                                | 市交通局        | -       |
| 静岡市   | 由比コミュニティバス（清水区）   | 合併後の由比地区の交通手段の確保                               | バス事業者       | 委託      |
|       | 井川地区自主運行バス（葵区）    | 既存バス路線の撤退による交通空白地域の解消                          | バス事業者       | 委託      |
|       | 清水まちなか巡回バス（清水区）   | 区の中心市街地の活性化をめざし、主要施設を連結する巡回バス（試験運行中）           | バス事業者       | 委託      |
|       | 駿河区役所線（駿河区）       | 区役所と主要施設を連結するバス（試験運行中）                         | バス事業者       | 負担金     |
| 浜松市   | くるる（中央区）          | 中心街の移動円滑化と活性化を主な目的として導入                        | バス事業者       | 委託      |
|       | 浜北コミュニティバス（浜北区）   | 区内を交通手段として運行するバス（合併市より継続）                      | 市           | -       |
|       | 浜松市自主運行バス（北区・天竜区） | 既存バス路線の撤退による交通空白地域の解消                          | バス事業者（一部市）  | 委託      |
| 名古屋市  | 地域巡回バス（各区）        | 区内の主要施設を繋ぐ地域の身近な交通手段として導入                      | 市交通局        | 赤字は市が補填 |
| 京都市   | 醍醐コミュニティバス（伏見区）   | 既存バス路線の撤退による交通空白地域の解消                          | バス事業者       | 委託      |
|       | 京北ふるさとバス（右京区）     | 合併町内住民の交通手段の確保                                 | 財団法人        | 補助金     |
| 大阪市   | 赤バス（各区）           | 大型バス路線ではカバーできない、各区内の住宅地と主要施設を連結する目的として導入       | 市外郭団体       | 委託      |
| 神戸市   | くるくるバス（東灘区）       | 交通空白地帯の解消として区内を循環するバスを導入                       | バス事業者       | なし      |

| 都市名  | 名称                    | 導入目的                      | 運行主体      | 行政関与 |
|------|-----------------------|---------------------------|-----------|------|
| 堺市   | 堺市ふれあいバス<br>(美原区以外の区) | 区内の主要施設を繋ぐ地域の身近な交通手段として導入 | バス事業者     | 委託   |
|      | みはらふれあい号<br>(美原区)     |                           |           |      |
| 岡山市  | 足守地区生活バス              | 既存路線廃止（交通機関空白の過疎地）により、導入  | 特別養護老人ホーム | -    |
|      | ニコニコバス                | 合併特例区内の交通手段を確保            | バス事業者     | 委託   |
|      | 御津コミュニティバス            |                           |           |      |
| 北九州市 | ふれあいバス（八幡西区）          | 既存バス路線の撤退による交通空白地域の解消     | バス事業者     | 委託   |
| 福岡市  | 今宿姪浜線                 | 既存バス路線の撤退による交通空白地域の解消     | バス事業者     | 補助金  |

## 熊本県内（市）の地域循環バスの運行状況

| 都市名  | 名称         | 路線数 | 運行主体  | 行政関与 | 年間利用者数    | 委託料・補助金額  | 備考               |
|------|------------|-----|-------|------|-----------|-----------|------------------|
| 上天草市 | SUNまりんバス   | 4   | バス事業者 | 補助金  | 22,242 人  | 14,828 千円 | H21.10<br>~H22.9 |
| 水俣市  | みなくるバス     | 6   | バス事業者 | 補助金  | 134,000 人 | 29,265 千円 | H20 年度実績         |
| 合志市  | 合志市内循環バス   | 6   | バス事業者 | 補助金  | 12,996 人  | 9,532 千円  | H20 年度実績         |
| 菊池市  | きくちべんりカー   | 1   | バス事業者 | 補助金  | 23,827 人  | 5,507 千円  | H20 年度実績         |
| 天草市  | のってみゅうか    | 2   | バス事業者 | 委託   | 8,000 人   | 3,370 千円  | H21.10<br>~H22.2 |
| 山鹿市  | やまが市街地循環バス | 1   | バス事業者 | 補助金  | 7,332 人   | 5,835 千円  | H20 年度実績         |



## 2「行政区画編成」「区役所の位置」 の修正意見について



## 行政区画の編成・区役所の位置についての委員意見

| 委員名                                             | 委員意見                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                         |
|-------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <p>赤星委員<br/>(4 区)<br/><b>4 区案</b></p>           | <p>基本的な考え方は、区画の数は 3～4 区画</p> <p>①理由：市民の自治権が民主的に発揮されるには、選挙区域を狭くすることは適切でない。旧市民の日常生活は、現在の市庁舎、市民センター体制の行政にほとんど不満を持っていない。</p> <p>行政執行の合理性、職員への過重負担の回避、財政負担の軽減は、少区割りが妥当。合併特例区（植木・城南・富合）には独自の大きな予算が 5 年間配分されること。</p> <p>②区画案：旧熊本市域を 2 区に分割、植木特例区を 1 区、城南・富合の両特例区を合わせて 1 区とした、4 区画の案</p> <p>③区役所の位置：植木総合支所、城南総合支所、市役所本庁舎、旧免許センター跡地</p> <p>④補足意見：私案に固執する気はない。他者の案で、3 区、4 区案があれば同意できる。第 6 回審議会に提案された「4 区案」については、同意できる。</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                             |
| <p>戸内委員<br/>大澤委員<br/>(4 区)<br/><b>4 区案②</b></p> | <p>城南町としては、6 区案でお願いしたい気持ちだが、住民説明会等の結果を見ると厳しい状況にある。</p> <p>そこで、第 6 回熊本市行政区画等審議会会議時に提出させていただいた 4 区案をお願いしたいと思う。</p> <p>この 4 区案は、事務局から出された 5 区案をもとに修正提案したものであり、修正内容としては、区役所の位置を富合総合支所から区域人口の多くを占めている田迎、御幸、日吉、力合校区の旧市民の生活圏域、交通移動範囲を考慮し、利便性の高い県道田迎木原線と神水川尻線の交差点付近(御幸西 2 丁目)に新設することと公民館校区を分断しないように画図校区を 4 区案の D 区に入れることを要望したいと思う。</p> <p>理由としては、5 区案の E 区画の場合、区役所位置を素案(富合総合支所)以外の候補地で見ると、まず南部市民センターは、国道 3 号線沿いではなく、市道により進入することになり、国道からの進入口が分かりにくく、幅員も狭いので市民の利便性において問題があると思われる。</p> <p>また、もうひとつの候補地である城南総合支所も区域の中央ではないため、富合総合支所同様に旧市民(田迎、日吉、御幸、力合等)の利用に際し、生活圏や移動圏域を含め交通アクセスも不便であり支障があるため、区役所の位置は、県道田迎木原線と神水川尻線の交差点付近(御幸西 2 丁目)に新設することにより、旧市民の生活圏域、交通移動範囲を考慮したものであり、より利便性(良好な交通アクセス)の高い位置への設置となる。区役所を新設することによる財政負担については、合併推進債の活用、交付税措置、政令市移行による新たな財源により、可能になると思う。</p> |
| <p>江藤委員<br/>(5 区修正)<br/><b>5 区案②</b></p>        | <p>5 区案の修正</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                               |
| <p>大久保委員<br/>崎元委員</p>                           | <p>各地域の特性に配慮した 5 区修正案を提案したい。</p> <p>龍田公民館の管轄区域である 5 校区を A 区から D 区に移し、西原校区は帯山小学校</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                          |

|                                          |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                       |
|------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <p>(5 区修正)<br/><b>5 区案③</b></p>          | <p>の分離新設校であり、帯山校区との一体感が強いとの地域性を考慮し、D区からC区に移す。</p> <p>西部方面は、熊本で唯一海を持った地域であり、駅舎等を持った地域でもある。そういう意味で西に向けて天草あるいは長崎に向けたエリアとしてまちづくりができていくことを考えて、旧飽田町、天明町の地域については、B区とする。</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                  |
| <p>米村委員<br/>(5 区修正)<br/><b>5 区案④</b></p> | <p>地元住民の要望として5区案がよいが、修正案として、地域産業形態からも有明海沿いは一緒によいので、飽田、天明はB区に入れたほうがよい。</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                             |
| <p>上村委員<br/>(5 区修正)</p>                  | <p>①行政区画の編成について：政令指定都市には地方自治法により区役所の設置が必要<br/>その要因は、人口規模や市域面積が拡大し、行政組織が大きくなると市民と行政との距離が遠くなりがちなところが懸念されるため、こうした問題点や不安を払拭し、日常生活に密着した行政サービスの提供さらに区域の特色を生かした効果的まちづくりを推進するための区割りを実現することが求められている。</p> <p>この目的に沿った区割りを実現するためには、5区案がもっとも適切だと思われる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・人口規模にバランスがとれているため、区間の連携がスムーズにとれやすく、効率的な職員配置のもとに均衡のとれた区政が期待できる。</li> <li>・区民と行政が身近な結びつきのもとに連帯して、市民協働のまちづくり等が期待できる。</li> <li>・現在、保健福祉センターについては、市民や地域と密着した事業を促進するため、東西南北中央の5施設を拠点として運営がなされている。この現状の体制が縮小されることになると、事業促進に影響がでることは必至であるとともに、市民や地域との関わりが深い福祉事務所の設置や消防組織の再編にも影響することになる。</li> <li>・効率的な職員配置によって、出張所（市民センター・総合支所）の機能を保つことができる。</li> </ul> <p>②区バスの運行については、交通空白地対策を含めて、利用者の確保に努める必要がある。</p> <p>③区役所の位置について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・Dについては、利便性や財源等の面から、免許センター跡地、市営バス小峯営業所を含めて再検討</li> <li>・Eについては、人口密集地や交通アクセスの面等から再検討</li> </ul> <p>※多くの住民は管轄の区役所に行かなければ、用件を済ませることができないと思っている。そこで管轄の区役所に必ず行かなければならない場合はどのようなときなのかを分かりやすく説明する必要がある。</p> |
| <p>植村委員<br/>(5 区修正)</p>                  | <p>4区案の検討がまだなされていないので審議会での話し合いは必要だと思う。ただ、住民の生活上大切な福祉関係の保健福祉センターの役割を考えると、現熊本市の各センターが所在する5区案でいいかと考える。</p> <p>その際は、線引き近くの校区の意見は十分考慮する必要があると思う。</p> <p>校区の意見や説明会の意見も考えた上でE区の区役所の位置は、予算上どうしてもだめであれば現在の富合総合支所でも仕方ないと思うが、多くの人の提案があったように川</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                 |

|                 |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                  |
|-----------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
|                 | <p>尻校区がよいのではないか。</p> <p>フェイス学院の跡にすれば可能ではないかと思う。</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                              |
| 岩永委員<br>(5 区)   | <p>5 区案で編成。</p> <p>区役所は富合総合支所で、建物は立派なものがあり、駐車場、広場等の広いスペースがある。道路も 3 号線、57 号線、ウキウキ道路と田迎木原線があり、中心部に行くのに便利である。富合町新幹線基地もあり、熊本市の南の玄関口として大きく発展すると思われる。</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                              |
| 新立委員<br>(5 区)   | <p>中央(白川校区)に住んでいるので、区役所の位置についての意見はない。居住している方の多くの方々の意見を聞くことが大事だと思う。いろいろな意見が出ている中では、区画の最終決定がなされていない限り、区役所の設置箇所についての意見は言えないと思う。</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                 |
| 中尾委員<br>(5 区基本) | <p>12 月 3 日に開催された 3 回目の審議会において、区の人口規模を 10 万～15 万人程度とすること等をはじめとした、行政区画の編成基準について合意がなされており、その後の審議会においても、この基準については幾度となく確認がなされている。</p> <p>また、基準をふまえた事務局 2 案(5 区案、6 区案)が提示され、その後、住民説明会、パブリックコメント、アンケートを実施。そして、住民アンケートでは、その約 6 割が 5 区案を支持する結果が出ている。</p> <p>このような民意を踏まえ、当審議会では 5 区案を基本とし協議することが妥当と考える。そのうえで、各方面の要望等を十分に配慮し、線引き修正について協議することが必要と考える。</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                   |
| 南委員<br>(5 区)    | <p>①第 5 回行政区画等審議会の時に意見申し上げた件について、城東小学校の所在地が校区外にあるため、現在の生徒数の半数近くが上熊本地区より来ている。上熊本地区は池田校区であり、区割りで中央区と分断されると、今、城東小学校に来ている子供たちはどうなるのか、将来はどうなるのかと云う心配が関係者の中にある。</p> <p>然し、今後、区で分断されても城東小学校の場合、現行の状態でよいとのことを聞いたので、何も云うことはないとの地域の考え方である。</p> <p>②区割りについては 5 区案を支持する。(城東小学校区自治協議会長も同じ考えである。)</p> <p>人口が 10 万から 15 万とした基本的な考え方が市民サービスの低下させない最も妥当なものではないかと思う。政令指定都市となって大きく発展していこうと云う枠組みの中で、6 区にすると、植木町と城南町、富合町が合併前と同じ形となり、今までの熊本市とは分離してしまい交流の中で共に発展を求めてゆこうという主旨が全うできないのではないかと思う。</p> <p>5 区案に反対の地域で区役所が遠すぎるという意見が多く出ている。交通アクセスについての具体的展望を示されたら、随分、安心するのではないか。</p> <p>2 月 22 日、夕方のテレビで武蔵ヶ丘にお住まいの女性の方が、バスで植木町役場に行ってみるところがあった。市役所前で乗り換えて、やっと着きましたと言っておられた。熊本市の交通体系が、今まで中央集中型であるから、もっと区役所まで行きやすい交通網をお願いしたい。</p> |
| 森(徳)委員          | <p>5 区案、6 区案が示された際には、両者を比較して、原則として 5 区案を支持した。そ</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                               |

|           |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                |
|-----------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| (4 区・5 区) | <p>の際、市民の意見をもとに区割りの線引き、区役所の位置を柔軟に修正すべきであることも付け加えた。</p> <p>説明会、パブリックコメント及びアンケートの結果をみると、様々な市民の意見があることが分かる。その全てを区割りなどに反映させることはできないが、可能な限り審議会の案に取り入れる必要があると考える。</p> <p>大区役所制を前提とする限り、区の数はい少ないほうが行政効率が高くなる。他方、区の数が少なくなりすぎると、区役所へのアクセスなどに問題が生じ利便性が損なわれる。そのため、5 区か、場合によっては 4 区の区割りも検討の余地があると考ええる。</p> <p>具体的な区割りの線引きなどについては、委員の方々から修正案が提案されると聞いているので、修正案に対する意見として申し述べる予定である(独自に修正案を提案する方法もあるが、修正案の数ばかりが多くなり、取りまとめ作業が難しくなると考えるため)。</p> |
|-----------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|